

広報

お知らせ版  
みなみふらの

No. 76

2004  
9/15

発行：南富良野町 編集：企画商工課 広報広聴係

## ヒグマ注意特別月間(秋期)

9月18日~10月31日

~ヒグマによる事故防止のために~



秋を迎え、キノコ採りや紅葉見物を楽しみにされている方も大勢おられることと思います。この時期、ヒグマは冬眠や出産に備え食欲旺盛で、動きを活発化させます。ヒグマは山奥だけに生息しているものではありません。近郊の野山に入る場合であっても、ヒグマに対する事故防止の意識を持ってください。

ヒグマによる不幸な事故を未然に防ぐため、次のことに注意しましょう。

### ヒグマに遭遇しないために

#### 野山に入る前に

地元の役場や森林管理署などで事前にヒグマの出没情報を確認しましょう。情報を得た出没箇所や、出没を知らせる看板がある場所への立ち入りは避けましょう。また、イヌを連れての立ち入りは、ヒグマを異常に興奮させることがあり危険です。

#### 野山に入る際に

ヒグマの出没が予想される野山では、単独行動を避け、集団での行動を心がけましょう。野山での単独行動は、人とヒグマの双方で気付くのが遅れ、危険な状況になる場合があります。

また、鈴を携行したり、見通しの悪い場所では笛を吹くなど、人の存在を早めにヒグマに知らせる工夫をしましょう。

ほとんどのヒグマは、人の存在に気が付けば遭遇を自ら避けるようですが、ヒグマの行動が活発になる早朝や夕方、ヒグマが人に気付きにくくなる濃霧時や降雨時は注意が必要です。

#### 野山での飲食の際に

においの強いものはヒグマを引き寄せる場合がありますので、控えたほうがよいでしょう。また、残飯、空き缶などのゴミは必ず持ち帰りましょう。

ゴミを野山に捨てたり埋めたりすると、ヒグマがこれらを食べて味を覚えてしまいます。いったん味を覚えたヒグマは、これらの魅力的な食べ物を得るため、

危険な行動を取るようになることが知られています。

### ヒグマに遭遇したら

#### まず落ち着く

あわてることは事故につながります。落ち着いて状況判断をしましょう。特に、走って逃げると追いかけてくるので危険です。

#### ヒグマを刺激しない

ヒグマがこちらに気付いていないようであれば、静かに立ち去りましょう。また、距離が近い場合には、視線をそらさずゆっくりと後退してください。

#### 子グマに遭遇したら

母グマが近くにいます。母グマは神経質ですから、驚かさないよう速やかにその場から離れてください。

#### 持ち物を取られたら

ザックなどの持ち物をヒグマに取られたときは、あきらめましょう。

### 注意

野生のヒグマとの遭遇については、いろいろなケースがあり、これで絶対安全という対処方法はありません。ここに示した内容は、調査研究や経験から有効と考えられる方法です。山に出かける際には細心の注意をお願いします。

町内でヒグマに遭遇したり、足跡などの痕跡を見つけたときは・・・

農林課(林業振興係) ☎ 52-2178 に情報をご提供ください。